

令和5年度 総合型選抜（AO型選抜） 入試採点基準

問題1

設問1-1

（解答例）

外食市場売上高は2020年2月時点では前年同月とほぼ同じ値であったが、3月には大きく減少し、緊急事態宣言が発出された4月には最低を示した。緊急事態宣言の解除後には増加傾向を示すものの元の水準には戻らず、2回目の緊急事態宣言の前には再び減少傾向に転じた。水産物取扱金額も外食市場売上高と似た推移をたどっていた。一方、スーパーマーケットの水産物売上高は前年を下回ることはなかった。これらのことから、新型コロナウイルス感染拡大防止のための新しい生活様式の実践により外食の機会が減り、外食市場売上高が減少した影響を受けて水産物取扱金額も減少したことがわかる。また、外食が減った分、内食が増え、スーパーマーケットの水産物売上高は減少しなかったと考えられる。（323字）

*採点のポイント：外食市場の売上高と水産物取扱金額の推移は似ているが、スーパーマーケットの水産物売上高は減少していないことに言及していること。記述が論理的に行われていること。

設問1-2

（解答例）

外食向けの需要の高い養殖マダイの販売金額は新型コロナウイルス感染症流行前の平均を大きく下回っている。この理由は、養殖マダイは外食での消費が多いため、外食市場売上高の減少の影響を受けて需要が減少したためと考えられる。一方、大衆魚のマイワシの販売金額は新型コロナウイルス感染症流行時においても変わっていない。この理由は、大衆魚は内食での消費が多く、スーパーマーケットでの需要が減少しなかったためと考えられる。（194字）

*採点のポイント：高級魚の養殖マダイは外食での消費が多く、大衆魚のマイワシは内食での消費が多いこと、需要と販売金額の関係に言及していること。記述が論理的に行われていること。

問題 2

(解答例)

図 3 によると、沿岸漁船漁業における漁業従事者の経営体数は、高齢者の階層で多く、非高齢者の階層ではこれに比べて少ない。また、販売金額では、高齢者の階層で、販売金額 300 万円未満が 7 割以上を占めており、この平均販売価格は 400 万円より低い。一方、非高齢者の階層では、高齢者の階層と比較すると 300 万円未満の割合は少なく、非高齢者のいずれの階層でも平均販売金額は 400 万円を超えている。(190 字)

*採点のポイント：沿岸漁業における経営体数は高齢者の階層で多いが、その階層では販売金額の低い割合が多く、また平均販売金額が低いこと、一方で非高齢者の階層では、経営体数は高齢者の階層と比べて少ないが、販売金額の高い経営体数の割合が高く、平均販売金額も高齢者と比べて高いことが説明できていること。記述が論理的に行われていること。